SHISEIDO

株主・投資家のみなさまへ

株式会社 資生堂　2020 年 12 月期 上半期のご報告

2020 年 1 月 1 日から 2020 年 6 月 30 日まで

OUR MISSION is

BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD

危機に打ち勝ち、構造転換の改革を進め、2023年に完全復活を目指します

代表取締役　社長 兼 CEO　魚谷雅彦

はじめに、新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々、豪雨災害によってお亡くなりになられた方々、ご遺族の皆さまに謹んで哀悼の意を表します。また、被患されている方々、困難な状況におられる方々が一日も早く回復されますよう、心よりお祈り申し上げます。

2020年の当社業績は世界的なコロナ影響により、上期実績に続き年間でも当期純損失を計上する見通しです。こうした不透明な経営環境にあることを考慮し、誠に遺憾ながら中間配当を昨年の30円から20円に減配せざるを得ない状況となりました。DOE（自己資本配当率）は3.4％となります。全社的に収益改善の取り組み、あらゆる面でのコスト削減等、鋭意取り組んでおります。その一環として、私をはじめ執行役員自らが率先して貢献すべく、報酬を減額（返納）することといたしました。

資生堂はこれまでの全方位でのビューティー企業から、「スキンビューティーカンパニー」として、より健康的な肌を実現する価値を中心とする企業に進化してまいります。この領域に強みを持つ自社の研究開発、外部とのオープンイノベーション、そして戦略的M&Aにより、生活者の幅広いニーズに応える多面的な商品・サービスを提供してまいります。そのオープンイノベーションの第一弾が8月に発表した、中国の美容機器市場でNo.1であるヤーマン株式会社との合弁事業です。当社のスキンケア技術とヤーマン社の美容機器の専門技術・知見を組み合わせ、共同での商品開発、事業化を成長著しい中国および日本において来年度より展開いたします。

これから2023年までの3年半、中期戦略「WIN 2023」を推進し、抜本的な経営改革、トランスフォーメーションを実現いたします。「スキンビューティー領域」を中核事業とし、2030年までにこの領域における世界のNo.1企業になることを目指します。これまでの、売上拡大による成長重視から収益性とキャッシュフローを重視し、販管費を抑制し、営業利益率は過去最高の15％を目標といたします。

「美」には世界を変える力がある

社会課題の解決、人々が幸せになる持続可能な社会の実現のため、資生堂ならではのESCG（環境、社会、文化、ガバナンス）の取り組みをグローバルで強化しています。

「美」は人々に自信や勇気、喜びや幸せ、新たなエネルギーをもたらします。私たちは、現在の困難な環境下こそ、「美」を通じて社会を元気にしていくことができる、そして、「美」には世界を変える力があると信じています。

今回のコロナとの戦い、「新しい生活様式」における社会の問題に関して、資生堂はぜひ貢献したいと、社員一丸となり取り組んでいます。化粧品で培った技術を活用し、手にやさしい消毒液を急遽開発し、まずは医療従事者の皆さまに寄贈させていただきました。また8月からは東京都内を中心に一般小売店での発売を開始しました。

新たな価値を生み出す「ビューティーイノベーション」を実現する、この使命を胸に、私たちは、One Shiseidoとして確実に歩みを進めてまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後も変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

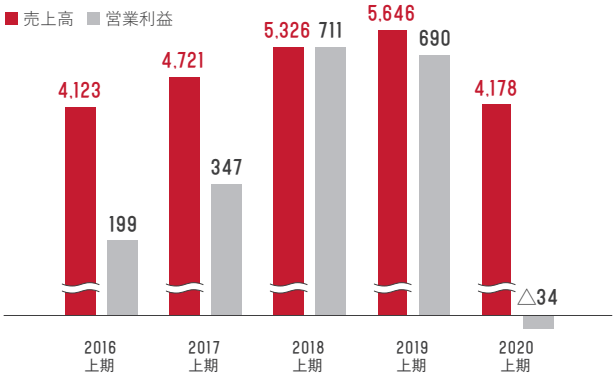
2020年上期実績

市場環境の急速な悪化を受け、34億円の営業損失を計上

2020年上期は、新型コロナウイルス感染症の拡大によりグローバルで経済活動が停滞し、企業収益や雇用情勢の悪化等による消費意欲の低下など、厳しい状況が続きました。国内化粧品市場は、外出自粛、小売店の臨時休業、入国制限等の影響を大きく受けました。海外化粧品市場も、感染症拡大に伴い急激に減速しましたが、中国では、4月以降市況が回復しています。

2020年上期の当社売上高は、現地通貨ベースで前年比24.5％減、円換算後では、前年比26.0％減の4,178億円となりました。営業利益は、コスト削減に取り組んでいるものの、売上減に伴う差益減などにより、34億円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業損失に加え、新型コロナウイルス感染症にかかる特別損失を計上したことなどから、214億円の損失となりました。

売上高／営業利益の推移（億円）



2020年通期見通し

当期純損失の見通し 年間配当は40円へ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により当期純損失を計上する見通しである中で、安定的な配当水準を継続する一方、現在、収束する時期が不透明であるため、手元流動性にも配慮し、当期の中間配当は、前期実績の30円から10円減額の20円、期末配当予想も、10円減額し20円といたします。この結果、1株当たりの年間配当は前年より20円減額の40円となる予定です。

（億円）	2020年	構成比	前年比	外貨前年比
売上高	9,530	100%	△16%	△15% 実質△16%※1
営業利益	0	0.0%	—	
経常利益	△65	△0.7%	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	△220	△2.3%	—	
EBITDA	580	6.1%	△66%	
1株当たり配当（予定）	40円※2	—	△33%	

2020年通期想定レート：ドル=108.0円（前年比△1.0%）、ユーロ=120.7円（△1.1%）、中国元=15.3円（△3.2%）

※1「Drunk Elephant」の買収影響等を除く
※2 1株当たり配当：中間20円、期末20円（予定）
※3 今回の業績予想においては、さらなる新型コロナウイルス感染症拡大による、日本での緊急事態宣言発令や、各国における今後のロックダウンの可能性は織り込んでいません

「WIN 2023」の実現に向けて

01 「スキンビューティーカンパニー」として高付加価値スキンビューティー領域をコア事業とし、2030年までに世界No.1を目指す

02 売上高重視から、収益性とキャッシュフロー重視へと転換し、原価・販管費の改革により営業利益率15%を達成する

03 アジア圏（日本・中国・アジアパシフィック・トラベルリテール）を基軸とし、欧米の収益改革を急ぐ

04 デジタルを活用した事業モデルへの転換を加速、体制強化

05 研究開発・生産物流・IT・人材などへの投資は継続し、他社との協業も含めて効率的に長期成長基盤を構築

06 CEO直轄で「グローバルトランスフォーメーション委員会」を設置し、確実な実行を推進する

「スキンビューティーカンパニー」として高付加価値スキンビューティー領域に注力

自社開発・オープンイノベーション・戦略的M&Aによるさらなる事業強化

スキンケアと美容機器の専門知見の融合

SHISEIDO × YAMAN

日本の美容機器トップブランド、中国美容機器市場No.1のヤーマン（株）との合併会社を設立。

安全・高品質な日本発のブランド・商品を2021年より中国・日本等で発売する予定です。

特集

手指消毒液(指定医薬部外品)を国内4工場、フランス、アメリカで生産

資生堂は、「新型コロナウイルス感染拡大の抑制に関して、当社にできるあらゆる可能性を考え、即実行していきたい。」という方針に基づき、当社の持つ知見・技術・設備を活かし、さまざまな対策を検討・実行してきました。

当社は独自に手荒れに配慮した手指消毒液(指定医薬部外品)を新たに開発し、関係省庁との協議を経て、那須工場で4月より生産を開始。5月以降は、大阪工場、掛川工場、久喜工場でも生産を開始し、医療機関などを中心に提供しています。さらに、8月から、東京都内を中心に一般小売店での販売を開始しました。今後は、市場の環境を鑑み、販売エリアを拡大していく予定です。

また、厚生労働省から承認を受けた手指消毒液の承認情報(処方)は、他の企業にも広く開示しました。

日本国外においても、フランスのバル・ド・ロワール工場、アメリカのイーストウィンザー工場でも消毒液を生産し、それぞれ医療機関へ提供しました。

当社は、新型コロナウイルス感染拡大の早期終息に向けて、今後もさまざまな支援を行ってまいります。

手指消毒液の充填ライン

製造途中の品質検査

手指消毒液の
エタノール濃度を測定

手指消毒液を寄贈した
那須工場近隣の中学校から
お礼状をいただく

Webコンテンツのご案内

手指消毒液の開発・生産に取り組んだ那須工場の社員へのインタビューを当社IRサイトに掲載しています

異例のスピードでの生産実現にあたり、直面した困難や、その解決方法、処方を開示した意義などについて話を聞きました。ぜひご覧ください。

那須工場 社員インタビュー

新型コロナウイルス感染拡大への対応

「いまだからこそ、資生堂ができること」

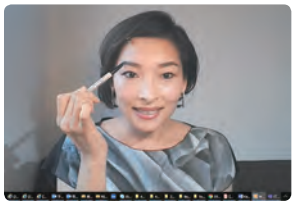
私たちはこの新しい現実の中、「美」にできることがあると考えています。皆さまの毎日に寄り添っていくために、さまざまな取り組みを行っています。

毎日をすこやかに生活するための情報ページ開設 いまだから大切にしたい、毎日のこと。

外出が制限される時期でもご自宅で気持ちよく過ごしていただくための、さまざまな情報を随時掲載しています。

このページでは、「ボディケア」「スキンケア」など、毎日簡単にできる美容情報から、「食」「読み物」「メッセージ動画」など、すこやかに生活するための情報のほか、社会貢献活動の情報なども掲載しています。

いまだから大切にしたい、毎日のこと。 >



Beauty Tips（美容情報）

食べる、飲む

ボディケア

読む、見る、感じる

「愛心接力 RELAY OF LOVE」プロジェクト※

資生堂は、「美」の力で元気と笑顔を届けるべく、中国婦女発展基金会と中国青少年発展基金会と組み、中国の7都市で、新型コロナウイルス感染症に最前線で対応くださった方々に、感謝の気持ちを伝えると同時に特製の化粧品セット「愛心接力ボックス」を届けました。また、医療関係者のご家族の方々へのファミリーイベントや、女子大学生への就職用メイクアップ講座などのチャリティーイベントを行いました。

※新型コロナウイルス感染症で苦しんでいる方の役に立ち、一日も早く元の暮らしを取り戻すことを願って2020年2月に立ち上げたプロジェクト。感染拡大の防止に取り組む医療関係者の支援を行っています。

上海でのキックオフイベント

愛心接力 RELAY OF LOVE >

おうち時間を楽しめる美容情報を動画やSNSで公開

4月の緊急事態宣言発令後、店頭での応対活動が停止される中、得意先さまとの取り組みにより制作した動画を、5月15日（金）に資生堂の公式Youtubeチャンネルなどで配信しました。全国のデパートで活躍する美容のスペシャリストが、春夏のトレンドメイクアップやスキンケアを紹介し、お客さまからも得意先さまからも、「とってもわかりやすいです」と好評を得ました。

#STAYHOMEbeauty >

個人株主・投資家の皆さまに向けたウェブサイトに最新情報を随時掲載しています

個人株主・投資家の皆さまに向けたコンテンツをわかりやすくまとめています。

決算短信、アニュアルレポート等のIR関連資料のほか、株主総会、決算説明会のプレゼンテーション、個人投資家説明会の動画も掲載しています。また、株主の皆さまを対象とする施策等のお申込みも本サイトから直接行えます。

決算短信・決算説明資料

株主総会情報

個人株主・投資家のみなさまへ

IRメール登録キャンペーン

抽選で30名様に当社スキンケア商品をプレゼント

IRメールに登録後、応募フォームにて応募いただいた方の中から抽選で30名の方に、当社スキンケア商品をプレゼントいたします。この機会にぜひご登録ください。

キャンペーン開催期間

2020年9月2日(水)0:00～2020年9月30日(水)23:59

当選発表

- 当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。
- 商品の発送は2020年10月下旬より順次行います。

注意事項

IRメール、応募フォーム、双方の登録が必要です。

IRメールの登録はこちら

応募フォームはこちらから

パスコードは郵送した「株主・投資家のみなさまへ」に記載しております。

株主メモ

銘柄コード	4911
決算期	12月31日
定時株主総会	3月下旬
基準日(株主確定日)	期末配当、定時株主総会　12月31日 中間配当　6月30日 そのほか必要あるときには、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
電子公告掲載	資生堂グループ 企業情報サイトに掲載 https://corp.shiseido.com/jp/ir/issue/legal/
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

株式に関するお手続きについて

	お問い合わせ先	
	証券会社の口座に記録された株式	特別口座※に記録された株式
● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 届出住所・姓名等のご変更 ● 配当金の受領方法・振込先のご変更 ● マイナンバーに関するお届出・お問い合わせ ● 特別口座から証券口座への振替請求	口座を開設されている証券会社	特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 0120-782-031(平日9:00～17:00) (取次事務) 三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店
● 郵送物の返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式実務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 住所、電話番号は上記の通り	

※株券電子化(2009年1月5日に実施)までに証券保管振替機構(ほふり)に預託されなかった上場会社の株券について、株主さまの権利を守るため、発行会社の申出により信託銀行などの金融機関(通常は株主名簿管理人)に開設された口座を特別口座といいます。特別口座は株式の取引口座ではありませんので、特別口座に記録された株式を売買・譲渡・贈与するには、あらかじめ証券会社等にご本人の取引口座を開設し、株式を振り替える必要があります。

株式会社 資生堂

本店所在地　〒104-0061
東京都中央区銀座七丁目5番5号

資生堂株主さま窓口　03-6218-5418(平日9:00～17:15)(IR部)

今後の見通しに関する注意事項　本誌の記載内容のうち、歴史的事実でないものは、資生堂の将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。